



銀座の言語景観9

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- フロアガイドの報告と分析
- パンフレットの報告と分析
- 免税カウンターの報告と分析
- トイレの報告と分析
- エレベーターの報告と分析
- エスカレーター報告と分析
- 臨時的掲示時計売場の報告と分析
- 臨時的掲示電化製品売場の報告と分析
- 臨時的掲示コスメ売場の報告と分析
- 臨時的掲示伝統工芸品売場の報告と分析
- 店内放送の報告と分析
- ホームページの報告と分析



第7章 エスカレーターの報告と分析

7.5. 臨時的掲示の報告・分析 (鞆子遼)

表3. 臨時的広告の収集結果

ID	施設名	日	英	中 (簡)	中 (繁)	韓0	その他	使用言語数
1	EXITMELSA	0	0	0	0	0	0	0
2	GINZA SIX	0	0	0	0	0	0	0
3	NISHIGINZA (西銀座)	0	0	0	0	0	0	0
4	ギンザ・グラッセ	0	0	0	0	0	0	0
5	銀座三越	0	0	0	0	0	0	0
6	バーニーズニューヨーク銀座店	1	1	1	0	1	1	5
7	阪急メンズ東京	0	0	0	0	0	0	0
8	松屋	1	0	0	0	0	0	1
9	マロニエゲート銀座1	0	0	0	0	0	0	0
10	マロニエゲート銀座2&3	1	0	0	0	0	0	1
11	メルサ銀座二丁目店	0	0	0	0	0	0	0
12	ルミネ有楽町店	1	1	1	1	1	0	5
13	和光	0	0	0	0	0	0	0
14	銀座コア	0	0	0	0	0	0	0
15	銀座ベルビア館	1	0	0	0	0	0	1
16	東急プラザ銀座	0	0	1	0	0	0	1
17	有楽町マルイ	0	0	0	0	0	0	0
18	有楽町イトシア	0	0	0	0	0	0	0
19	有楽町マリオン	0	0	0	0	0	0	0

図2. 臨時的広告の使用言語

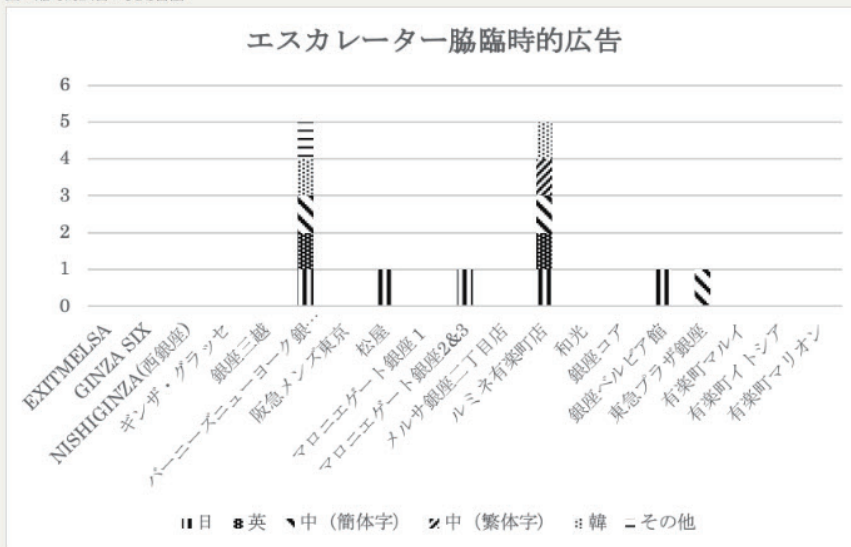
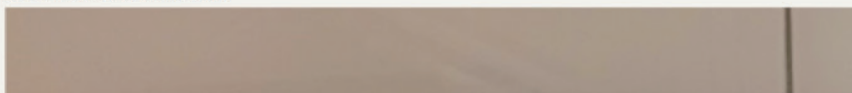


写真6. ルミネ有楽町店の臨時的掲示





エスカレーター脇の臨時的掲示は店舗によって偏りが大きかった。臨時的掲示が見られた店舗は19店舗中6店舗あり、そのほとんどが日本語であった。その中で5言語による表記が見られたのはバーニーズニューヨーク銀座店とルミネ有楽町店である。写真6は免税カウンターの説明であり五言語（日・英・中《簡・繁》・韓）が使われているが、日本語が一番小さく表記されている。

図3.2019年7月の訪日外客数（日本政府観光局より）

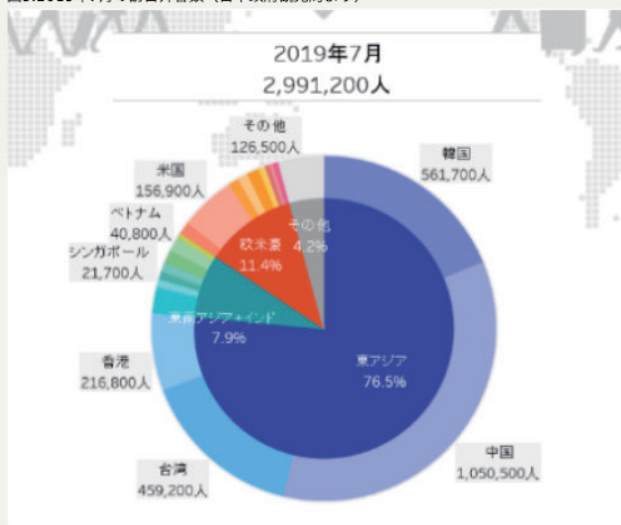


図3は日本政府観光局の「日本の観光統計データ」、2019年7月の訪日外客数のグラフである。この図から訪日外客数は東アジアが最も多いことがわかり、東アジアの中でも特に中国、韓国からの訪日外客数が多いことがわかる。このことから、バーニーズニューヨーク銀座店とルミネ有楽町店の臨時的掲示で見られた五言語（日・英・中《簡・繁》・韓など）も訪日外客数が関係していると考えられる。また、英語は世界で広く使われている言語であるため、より多くの人が理解できるようにエスカレーターの注意喚起や臨時的掲示にも使用されているのだろうと考える。

7.1.調査概要

7.4.注意、禁止事項の報告・分析（鞠子遼）

7.6.エスカレーター脇フロアガイドの報告・分析（林乃愛）

7.7.導線案内の報告・分析（林乃愛）

7.8.ピクトグラム（鞠子遼）